

Doc. No.: NR061012

2006年10月12日

会長・石田明の経営観を伝える単行本「脱本業・拡本業へのイノベーション」を出版

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区)の会長・石田明はこのほど、40年にわたる自身の経験から生まれた経営観を広く伝える単行本「脱本業・拡本業へのイノベーション」(発行/日経BP企画、発売/日経BP出版センター 1,600円(税別))を出版。本日から全国の主な書店で発売されます。

本書で著者は、「思考展開^{※1}」という経営理念や「脱本業・拡本業^{※2}」という自身の経営信条に基づいて、創業のフォトリソグラフィ技術^{※3}を原点とし、次々と新たな事業領域に挑戦し続けた軌跡を書き下ろしています。また、組織や人事制度改革など、さまざまな「経営のイノベーション」が実現に至るまでの過程や、会社経営に対する考えや取り組むべき姿勢について、エピソードを交えて読みやすくつづるとともに、次世代を担う人へ期待を込めて「自分で這い上がってこい!」という力強いメッセージを送っています。

※1 思考展開

研究開発型企業として生まれた大日本スクリーンの事業展開の信条。常に「自社の技術や製品にどう結び付くのか」「何が不足しているか」を考え、新しい事業や製品の創造にチャレンジするという強い思いが込められている。著者の父、徳次郎が事業を拡大する中で発想した言葉。

※2 脱本業・拡本業

著者のさまざまな経験から生まれた経営信条を表す言葉。業界の変化を予想し、本業で培った技術やノウハウを最大限に生かしながらも、本業という垣根にとらわれることなく、ビジネス展開や技術開発を推し進め、事業の多角化を図ることを意味する。

※3 フォトリソグラフィ

光を利用して画像を原版に形成する技術。大日本スクリーンでは、創業事業である、写真製版用「ガラススクリーン」を使用して写真処理によって画像を形成する「フォトリソグラフィ」技術が、後にカラーテレビのブラウン管用マスクや半導体製造装置(シリコンウエハーの表面に半導体回路を形成するために必要な技術)、液晶製造装置(ガラス基板の表面に液晶パターンを形成するために必要な技術)などに展開された。



☆ この画像の印刷用データ(解像度300dpi)は、
下記URLよりダウンロードできます。
(www.screen.co.jp/press/nr-photo/)

●本件についてのお問い合わせ先

大日本スクリーン製造株式会社 本社広報室：Tel 075-414-7131 Fax 075-431-6500 〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上る4丁目

<本書の概要>

書名：脱本業・拡本業へのイノベーション

著者：石田 明(大日本スクリーン製造株式会社・代表取締役会長)

発行：日経BP企画

発売：日経BP出版センター

定価：1,600円(税別)

<石田 明の略歴>

1942年 京都市生まれ

1966年 日本大学法学部卒業と同時に、大日本スクリーン入社

1968年 石田旭山印刷(現・写真化学)に出向、その後転籍

1978年 大日本スクリーンに復帰

1989年 代表取締役社長に就任

2001年 代表取締役会長を兼任

2005年 藍綬褒章を受賞

2005年 代表取締役会長に専任

現在に至る